

# スーパーマーケット景気動向調査

2015年11月調査結果（10月実績）  
（11月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

# 11月調査（10月実績）結果概況

## 景気判断DIは現状判断50.0と小幅に持ち直しも回復に勢いはなく

10月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.8の50.0、見通し判断前月から+0.2の46.5となり、共にわずかな回復をみせ、現状判断はちょうど50となった。

経営動向調査結果は、少雨好天や土曜日が一日多い恩恵を受け、来客数DIがやや持ち直したことで売上高DI、収益DI共に小幅にプラスを維持している。依然として生鮮品や食品の仕入原価DIが高止まりしていることで、販売価格DIや客単価DIが高水準で維持されている。

カテゴリー動向結果は、相場高を背景に青果DIが16.0、好天による行楽需要の高まりを背景に惣菜DIが11.1と共に好調となっている。一方で相場高が落ち着きを見せ始めた畜産DIや不漁等で高値が続く水産DIはそれぞれ3.8、-0.7と伸び悩みをみせている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、ここ数か月の上昇傾向が続いていたが、当月はわずかに持ち直しをみせた。ただし、その上昇幅はいずれも小幅なものにとどまっている。景気判断DI 現状判断は50台を回復したが、その他のDIは判断の分かれ目となる50を下回る水準であり、景況感の減速に歯止めがかかったとは言い難い。周辺地域景気判断DIの長期傾向でも景況感の下降トレンドを示唆している。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

好天や曜日などの追い風を受けた月であったが、特に見通し判断DIの戻りは弱く、依然として先行きへの不安が根強い状況であることに変化はみられない。年末商戦に向けて見通し判断DIの動向を注視していきたい。

### 景況感調査

#### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>50.0</b> (+0.8) 前月：49.2	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>49.0</b> (+0.2) 前月：48.8	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>42.9</b> (-1.0) 前月：43.9	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>48.2</b> (+0.3) 前月：47.9
--	---	---	---

#### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>46.5</b> (+0.2) 前月：46.3	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>48.1</b> (+0.9) 前月：47.2	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>40.6</b> (-1.1) 前月：41.7	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>46.8</b> (-0.5) 前月：47.3
--	---	---	---

### 経営動向調査

#### 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月： <b>3.3</b> (-1.3) 前月：4.6		<b>収益DI</b> 当月： <b>1.0</b> (-0.8) 前月：1.8		
<b>販売価格DI</b> 当月： <b>11.1</b> (-0.5) 前月：11.6	<b>客単価DI</b> 当月： <b>9.7</b> (-1.6) 前月：11.3	<b>来客数DI</b> 当月： <b>-4.2</b> (+2.9) 前月：-7.1	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月： <b>15.1</b> (+0.4) 前月：14.7	<b>食品仕入原価DI</b> 当月： <b>13.0</b> (+1.2) 前月：11.8

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月： <b>16.0</b> (+6.3) 前月：9.7	<b>水産DI</b> 当月： <b>-0.7</b> (-3.9) 前月：3.2	<b>畜産DI</b> 当月： <b>3.8</b> (-5.0) 前月：8.8	
<b>惣菜DI</b> 当月： <b>11.1</b> (+2.4) 前月：8.7	<b>日配DI</b> 当月： <b>2.5</b> (-2.1) 前月：4.6	<b>一般食品DI</b> 当月： <b>-0.6</b> (-1.8) 前月：1.2	<b>非食品DI</b> 当月： <b>-4.8</b> (+0.2) 前月：-5.0

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

# 11月調査（10月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

## 1. 売上高DI

7ヵ月連続でプラス圏を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.0	17.6	36.2	36.2	5.0	4.6
売上高（当月）	4.3	22.0	31.1	41.1	1.4	3.3



## 2. 収益DI

7ヵ月連続でプラス圏を維持

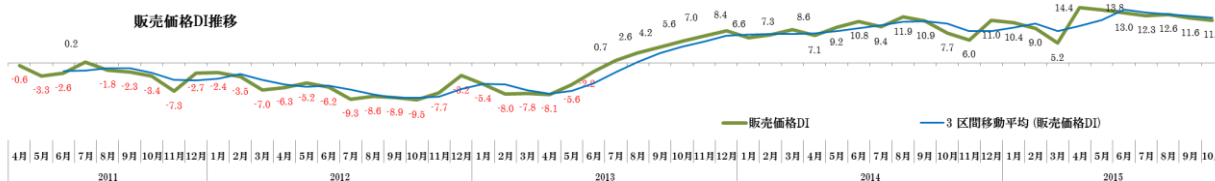
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	6.5	18.4	42.4	26.7	6.0	1.8
収益（当月）	4.9	22.4	38.5	32.2	2.0	1.0



## 3. 販売価格DI

ゆるやかに下降傾向も7ヵ月連続の二桁プラス

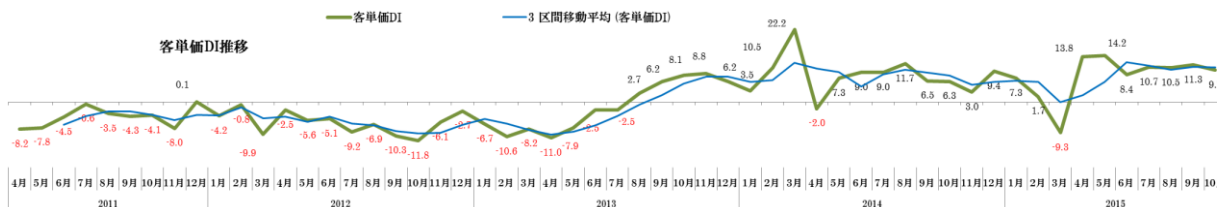
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.5	5.0	44.3	47.9	2.3	11.6
販売価格（当月）	0.0	5.8	45.9	46.4	1.9	11.1



## 4. 客単価DI

引き続き高水準を維持し7ヵ月連続のプラス

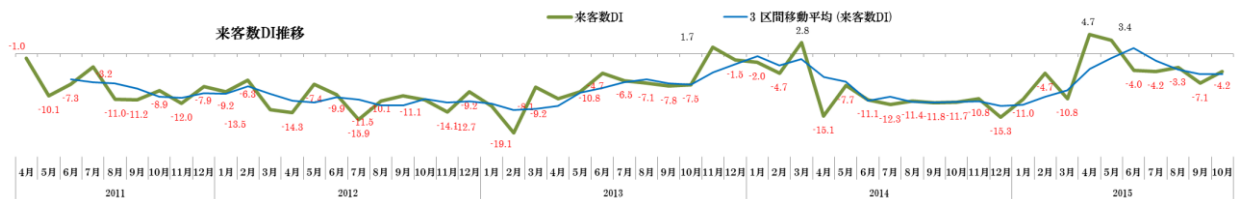
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.5	11.4	33.8	51.1	3.2	11.3
客単価（当月）	0.0	12.1	38.2	48.8	1.0	9.7



## 5. 来客数 DI

わずかに持ち直しをみせたが4ヵ月連続のマイナス

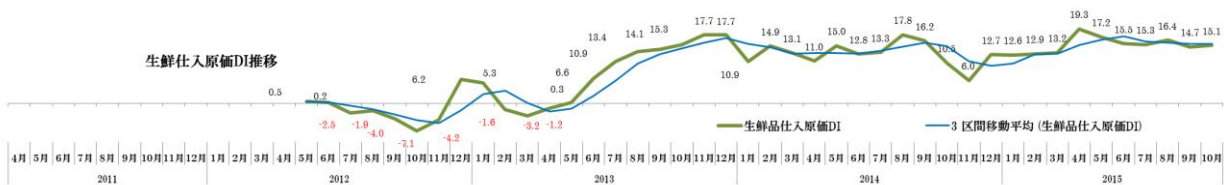
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	6.8	37.4	34.2	20.1	1.4	-7.1
来客数 (当月)	4.3	34.1	36.5	24.0	1.0	-4.2



## 6. 生鮮仕入原価 DI

相場高により引き続き二桁プラスの高水準

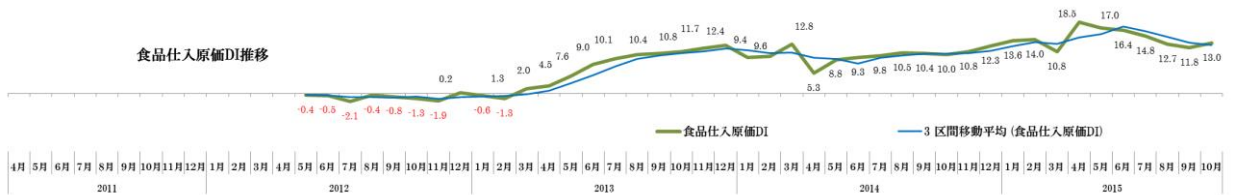
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.9	3.3	34.0	56.3	4.7	14.7
生鮮仕入原価 (当月)	1.0	5.9	31.7	54.6	6.8	15.1



## 7. 食品仕入原価 DI

引き続き高水準を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.3	3.7	41.5	49.8	2.8	11.8
食品仕入原価 (当月)	2.4	3.4	37.9	52.4	3.9	13.0

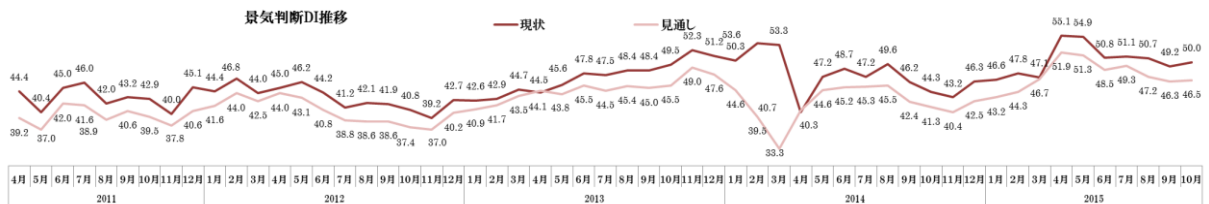


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状、見通し判断共にわずかに改善をみせる

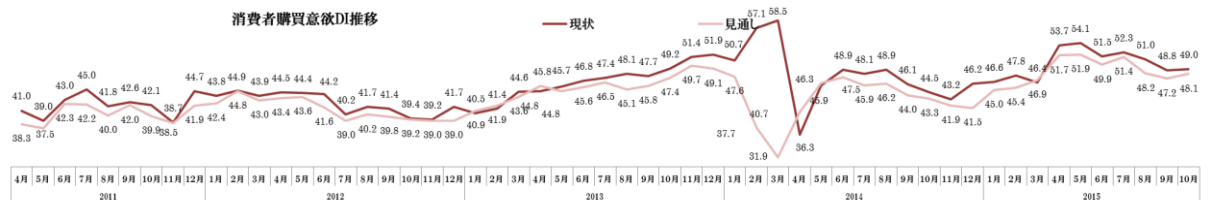
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.8	17.1	63.6	17.5	0.0	49.2
【現状】景気判断 (当月)	1.0	15.3	66.5	17.2	0.0	50.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.3	22.0	63.8	11.9	0.0	46.3
【見通し】景気判断 (当月)	1.0	25.4	60.3	13.4	0.0	46.5



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状、見通し判断共にわずかに改善をみせる

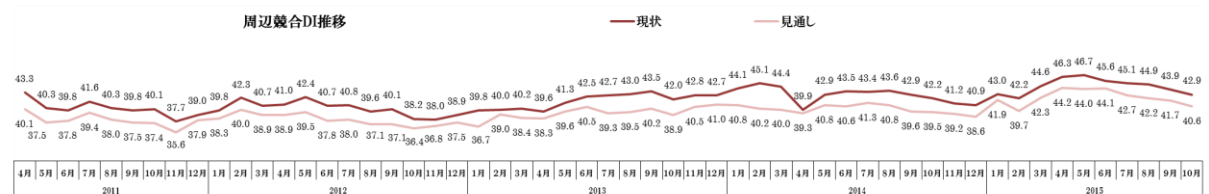
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.4	14.7	71.0	12.9	0.0	48.8
【現状】購買意欲 (当月)	0.5	13.4	75.6	10.5	0.0	49.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.4	17.4	72.0	9.2	0.0	47.2
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	17.3	71.6	10.6	0.0	48.1



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

ゆるやかに下降傾向をたどる

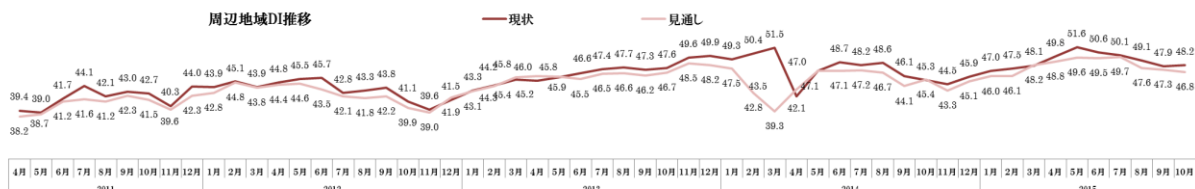
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.7	20.7	71.9	3.7	0.0	43.9
【現状】競合状況 (当月)	4.3	23.0	69.9	2.4	0.5	42.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.5	25.7	65.1	3.7	0.0	41.7
【見通し】競合状況 (当月)	5.7	28.7	63.6	1.4	0.5	40.6



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

共に50を割り込む水準での横ばい傾向

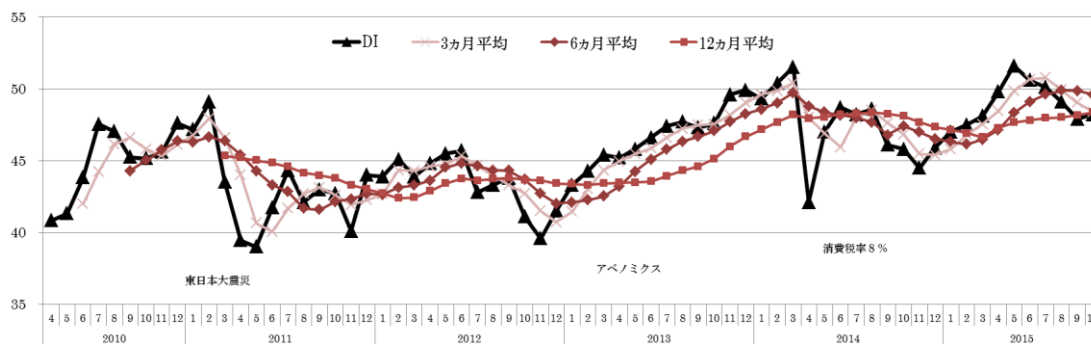
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.5	11.2	84.6	3.7	0.0	47.9
【現状】地域景気(当月)	0.0	11.5	84.1	4.3	0.0	48.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.9	12.6	82.8	3.7	0.0	47.3
【見通し】地域景気(当月)	0.0	16.8	79.3	3.8	0.0	46.8



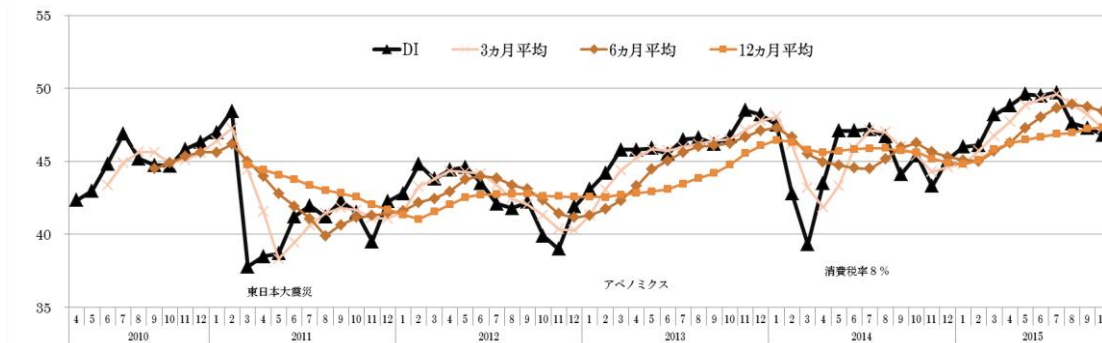
#### 長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。その後、5月に持ち直すものの、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月では再び下落となった。消費税率引き上げ後、3ヵ月周期でトレンドが変化し、方向感の見えにくい状況であったが、12月以降は6ヵ月連続の改善となり、5月に2010年の調査開始以降で最高水準にまで上昇をみせた。その後6月以降は一転して下落が続いている。直近では12ヵ月平均線のみがわずかなプラスを維持しているものの、他の平均線はマイナス方向に転換している。

#### 現状判断 (中長期傾向)



#### 見通し判断 (中長期傾向)





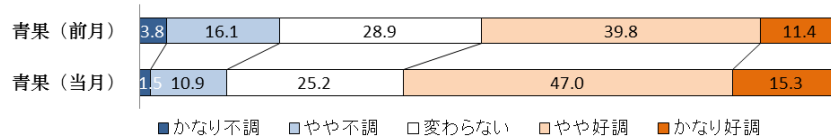
### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### カテゴリー別動向 DI による好不調判断

かなり好調：20 以上・好調：10～20・やや好調：0～10

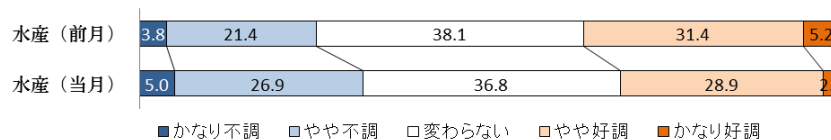
かなり不調：-20 以下・不調：-20～-10・やや不調：-10～0

#### 1. 青果 DI：16.0（好調）



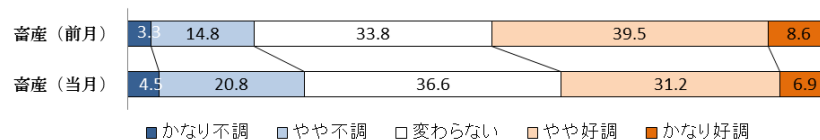
主力野菜（キャベツ・大根・ネギ等）相場の高騰が続くなか、買い上げ点数の減少が抑えられ、一品単価が上昇したことにより好調となった。サラダ、カット野菜が特に好調とのコメントが多い。鍋物商材（薬物・キノコ類）が好調となっている。果実では相場が安いバナナを中心とした輸入果物が好調、柑橘類（みかん）についても好調とするコメントが多かった。

#### 2. 水産 DI：-0.7（やや不調）



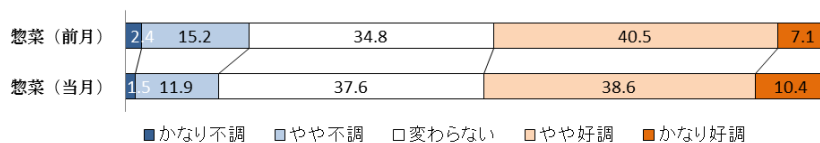
行楽にあわせた刺身盛り合わせなど即食性の高いもの、塩干類、鍋物商材が好調である一方で、サンマや秋鮭は不漁や相場高などで不調であったとのコメントが多かった。

#### 3. 畜産 DI：3.8（やや好調）



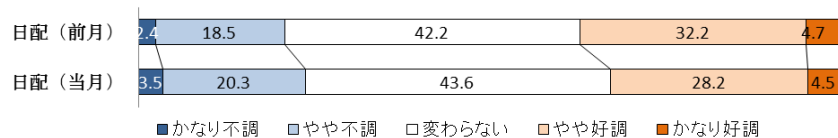
依然として相場高が続いており、訴求の仕方が難しい状況になっています。特に牛肉が高く、ステーキ、焼肉商材が伸び悩む一方、行楽や祭りに関連して焼鳥の需要が高く、鍋物商材が好調。牛肉から相場が落ち着きをみせている豚肉にシフトしているとのコメントも散見された。加工肉については発がんリスク報道以降、急激な売上減少を指摘する声も聞かれた。

#### 4. 惣菜 DI：11.1（好調）



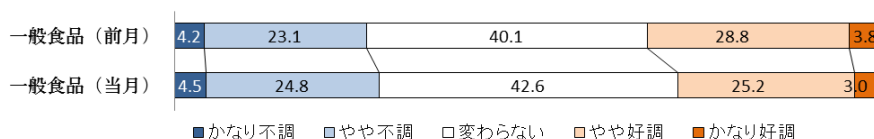
好天による行楽需要の高まりにより、揚げ物、弁当、オードブルなどが好調となった。曜日めぐりによる来客数の増加や季節商品の展開、できたての提供等の取組みの効果も好調の要因となっている。

## 5. 日配 DI：2.5（やや好調）



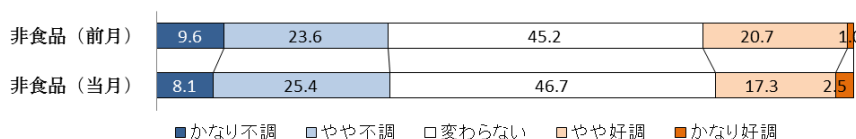
乳製品やパン類などは価格上昇を追い風に、ハロウィンに関連した洋生菓子、青果相場高により漬物などが好調となっています。おでんなどのホットメニューは、気温の低下状況により好不調まちまちな結果となった。

## 6. 一般食品：-0.6（やや不調）



曜日めぐりによる来客数の増加や、加工食品の価格上昇、これまで不振が続いていた米が新米発売でやや持ち直しをみせたものの、競合との価格競争が厳しく、やや不調となった。

## 7. 非食品 DI：-4.8（やや不調）



ハロウィン関連のグッズが好調であるが、妖怪ウォッチ関連、 Deng 熱騒動の殺虫剤などで反動がみられ、カテゴリー全体ではやや不調となっています。紙製品は、価格上昇に加え、競合が厳しく不調、行楽関連で割り箸、紙皿・紙コップなどが好調とのコメントが散見されている。

## 2015年11月調査（10月実績）キーワードTOP3

1. 前年より土曜日が一日多い
2. 晴天（少雨）の日が多い（来客数増加）
3. 生鮮品の相場高

## スーパーマーケット景気動向調査

10月実績速報版集計 209社

9月実績確報版集計 221社

## スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

[tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)